

【第7回作業部会（平成28年8月31日）での主な意見等】  
第4次総合計画基本構想における「施策の大綱」の検討について

1 各大綱等の内容に関する主な意見等

基本構想(素案)たたき台 (H28.8.8版)における 大綱等	主な意見等
大綱1 【福祉・保健・医療】	○キーワードとして、「健康寿命の延伸」「QOLの向上」。 ○方向性としては、すべての人が住み慣れた地域で安心して、健康に暮らせるまちをつくる。
大綱2 【子育て・教育】	○大綱2をベースに、地域の連携、人材活用、市民自治、公共施設の最適化等の視点を取り入れてはどうか。 ○教育と文化は関係が深い。一方で、都市魅力の中で文化、スポーツを位置付けて議論してきたこれまでの前提がある。
大綱3 【環境】	○「低炭素社会、循環型社会及び生物多様性の保全の実現に向けたまちづくりを推進します」とする。 ○「限りある自然環境の確保」とする。
大綱4 【都市形成】	○「整備、維持」について、適切な維持管理、更新の視点や機能のレベルアップ等の含みも必要。 ○コンパクトシティの一般的な定義は、本市には合わない面があり、どのように示すべきか、立地適正化計画の検討状況等を見ながら確認していく。 ○「都市基盤」や「都市空間」の表現について、都市マスタープランの定義も確認し、検討が必要。
大綱5 【安心安全】	○「あらゆる災害」という表現は、大規模な災害だけが連想される。もう少し日常的で身近な災害対策（火災、救急等）についても盛り込んでいく必要がある。 ○「安心安全」というワードは、災害に限ってのものではなく全ての大綱に関わることなので、大綱5の名称は変更する必要がある。
大綱6 【地域経済・都市魅力】	○組織改正を踏まえると、文化・スポーツを教育に位置付けることには疑問。文化・スポーツについては、都市魅力と教育の両方に入れる方法もあるのではないかと。 ○文化については、教育との関係が強い。
基本姿勢1 【人権・市民自治】	○【人権・平和】及び【市民自治】は、あらゆる施策、事業に取り組むに当たって必要な視点ではあるが、一方で、個別の施策、事業も実施しているので、「大綱」にも必要なのではないかと。
基本姿勢2 【行政経営】	○【行財政運営】について、PDCAサイクルの「C」に重点を置いたPDCAサイクル記載をすべき。さらに、「権限移譲」についての追加を検討すべき。 ○【市民サービス】は施策ではないのではないかと。

- 2 「施策の大綱」及び「まちづくりの基本姿勢」の示し方に関する主な意見等について
- 「基本姿勢」があらゆる取組のベースであるという位置づけなら、「大綱」の前に示すべきではないか。
  - 基本姿勢の位置付けを明確にするべき。また、将来像、基本姿勢、施策の大綱の関連性については、図示する方がわかりやすいのではないか。
  - めざす将来像を実現するために施策の大綱を作るべきであり、基本姿勢に施策がぶら下がるというよりは施策の大綱に施策がぶらさがることが、説明しやすいのではないか。